

雇用・能力開発機構のあり方検討の視点（案）

1 公共職業訓練の政策的位置づけ、必要性

- (1) 教育訓練市場における位置づけと役割
- (2) 雇用対策における位置づけと役割
- (3) ものづくり政策における位置づけと役割

2 民間、地方公共団体との関係

- (1) 官と民との役割分担のあり方
- (2) 国と地方公共団体の役割分担のあり方

3 効果的な職業訓練実施のためのノウハウのあり方

- (1) 技術革新等に対応した職業訓練コースの設定と職業訓練の効果的な実施
- (2) 職業訓練指導員の養成・再訓練

4 職業訓練施設・設備のあり方

- (1) 職業訓練施設・設備の状況
- (2) 職業訓練実施の費用

5 組織・業務のあり方

- (*1)・第1回検討会においては、上記1及び2に係る状況の説明
・第2回検討会（機構からのヒアリング）と施設見学においては、上記3及び4に係る状況の説明
を行い、総論的なディスカッションを行う。
- (*2) 第3回検討会（6月）以降、上記1から5の視点に基づき、具体的な議論を行う。